

パソコンいわくら教室新聞

スマホを持ち歩くことの多い昨今。電話する、LINEする、その他の一番の機能とも言えるカメラ。手軽なだけに日々写真が溜まってきます。それどうする？

撮影した写真は？

スマートフォンが一番の機能と言ってもいい「カメラ」です。最近のスマートフォンは

性能も良くなって綺麗な撮影ができます。難しい夜景撮影なども手ぶれ補正などの機能でいい写真が撮れるようになりました。レストランでの食事やデザート、とにかく手軽に写真が撮れます。

では、その撮影した写真はどのようににされているでしょうか。お気に入りの写真は印刷する、パソコンにも保存して大きい画面で楽しむ、インスタグラムやフェイスブックなどで共有し合う、様々な楽しみ方があると思います。中でもインスタグラムは写真共有にはもってこいのツールです。が、もう一歩進んでみましょう。

スマホで撮影し保存されているその写真、売れるかもしれません!?と言ったらどうでしょう。

スマホ向けのアプリ「snapmart(スナップマー」を利用すると、スマホ内の写真を販売することができます。

アプリをダウンロードし、必要事項を入力すれば、後は写真を選んで「出品」するだけです。売れば売上金を登録のある金融機関へ送金してもらえます。



まず、アプリをダウンロード

手順は以下の通り。

①アカウントを作成する。
②本人認証を行う。(運転免許証、保険証などで行なえます) 本人認証することで売れたときの報酬が上がります。

③連絡先、振込口座の登録。
④写真の出品。数分あれば終了です。

人物が特定できるような写真は、その方の肖像権があるため、販売許可を得る必要があります。(モデルリリースと言います。アプリからメールを送って認証してもらう方式ですので簡単かもしれません)

写真が売れたときの報酬は「販売価格×報酬率」となります。販売価格は単品で購入するか定額で

購入するかによって異なるようですが、ほとんどの購入は定額が多いようです。その場合は一枚86円ですので、その金額×報酬率ということになります。

報酬率は30%～60%とレベルによって変わります。レベルはバッチをいくつ獲得したかで決まり、例えば本人確認ができていればバッチ一つとか、10枚売ればバッチ一つとか、様々な条件があります。ちなみに報酬率60%はレベル7でバッチは20個以上(実際はもっと?) 獲得する必要があります。

報酬を得る方法はもう一つあり、アプリ内で行われている「コンテスト」に出品することです。空や海の写真、雨上がりや後ろ姿の写真など、テーマに沿ったコンテストがあります。入選すると報酬がもらえます。こちらの方が高報酬ですが、そう簡単でもないようです。

出品する写真は、一般ではなかなか見つからないような写真がいいようです。得には「人物」が写っていて、ちゃんとモデルリリースが得られている写真や、ロや鼻といった顔パーツの写真、季節のイベントごとの写真、検索してもらうための「タグ」がたくさん付いていることも重要です。同じ言葉でもかなや漢字などで付けてみるひと工夫も。



暗い写真は明るく加工するほうが良いでしょう。また、写真が検索されたときに上位に表示されるように「いいね」を稼ぎましょう。たくさんの人に見てもらうために、インスタグラムなどのSNSで共有しておくのもお勧めです。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

